

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (平成 28 年度)

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	12	10	土	10:00	14:30	高倉市民の森・ 農業交流センター	6
活動名称	きのこの観察会						報告者：柏木

<主な活動内容>

- 県からの助成金を活用した、鶴ヶ島の植生を記録する「植物図鑑」作りの一環として、生態系の中で分解の段階に大きな働きをするきのこの観察をしました。これからの気候の変化でどのような変化があるのだろうか？を今後、観察していきたいと思います。
- 市民センターに置いたチラシを見た人1人、手渡しした人1人参加してくれました。
- この時期の高倉の森の中を全員でまわり観察できたきのこの写真を撮りました。
- 今回、きのこに詳しい人が3人もいたため、きのこのミニ情報で盛り上がっていました。
- きのこは非常に種類が多く、一見似たものも多いため半数近くが名前の特定が出来ませんでした。しかし、大河内先生が調べて、判明したものを知らせてくれることになりました。(今回観察されたキノコの種類15 但し食べられるものはなかった。)
- 次回からの観察予定は 春：4月 夏：7月 秋：9月 季節ごとに実施することとしました。
- ◎ 昼食に伊藤さんが採ってきてくれたヒラタケ・エノキダケなどで「きのこ汁」を作りました。参加者(先に帰られた小澤さん以外)全員でいただきました。
山の中で自生しているきのこの風味は、買ったものと全然違い、出汁なしでとても美味しいと好評でした。人にとって自然の魅力は食と密接に関係するのかも知れません。

<里山参加会員>

小澤邦、吉井、小沼、吉牟田、松井、柏木

<会員以外の参加者> (敬称略)

大河内、高久、今國、伊藤

(今回の費用) お昼の用意に 3200 円